

側溝新製品の販売開始

優れた滑り抵抗性確保

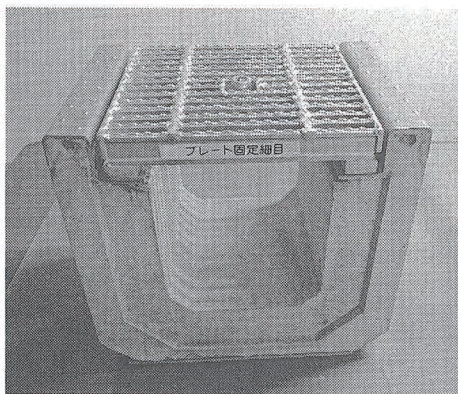
道路用コンクリート製品を中心に道央圏で営業を展開する東陽上村アドバンス（札幌市、澤田満社長）はこのほど、ノンスリップ仕様のプレート固定式横断側溝を開発し販売を開始した。

側溝と一体化しているアングル部分に突起加工を施したことで、約2倍の滑り抵抗性を確保。凍結時でも滑りにくく滑り抵抗の推奨値は、国土交通省のガイドライン「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」で示されているO・4を、乾燥状態O・78、散水状態O・65と大

幅に上回っている。突起部分は、地元鉄工所の協力を得て開発。アングル部分の素材は、ステンレス製とZAM（高耐食性溶融メッキ鋼板）製をラインアップ。ともなびに対する耐久性に優

れ「意匠性を重視した環境にはステンレス製、コスト重視した環境にはZAMを勧めている」（澤田博幸専務）。アングル部とコンクリートを一体化することで、耐食性、耐荷重性、耐衝撃性を向上。また、除雪時の重機バケットによる破損リスクを軽減。さらに、固定用プレートに微小なたわみをつけ、車の通過時に発生していたきしみ音を無くした。

プレート固定式とは、側溝本体の連続溝に固定用プレートを装着し、側溝とグレーチングを締め付け固定したもの。短尺施工において、任意の位置で締め付けが可能で、切断箇所は限定されない。仕様は、60、150、240、300（mm）型を用意。マンションや商業施設、駐車場、学校、病院、公園、道路などで幅広く活用できる。特に60と150型は雨水対策の必要な駐車場の重車乗入部やマンション、商業施設での採用が増えていくという。価格は突起無し仕様比べ1割増しだが、滑り止めを設けた従来製品との比較では低い。



ノンスリップ仕様のプレート固定式横断側溝

これにより車両が通過してもカタツキや騒音、跳ね上がりが発生しにくい。また、グレーチングはヒールや車いすのタイヤがポルトスペースに落ちない安全を考慮した形

澤田専務は「公共福祉製品や高い安全性を備えた製品など多くの人が安全に安心して快適に生活できる製品を世に送り出していきたい」と語る。